

令和3年度

愛媛県消防長会

消防職員意見発表会

日 時 令和3年11月12日（金）14：00～

場 所 伊予市下三谷1761-1

ウェルピア伊予「鳳凰」

# 意 見 発 表 会 次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 発表者及び審査員の紹介
- 4 審査要領説明
- 5 意見発表
- 6 審査・休憩
- 7 審査講評・結果発表
- 8 表彰
- 9 閉会

# 令和3年度愛媛県消防長会消防職員意見発表会実施要領

## 1 目的

この発表は、各消防本部から選抜された消防職員が、業務に対する提言や取り組むべき課題等について自由に発表し、消防業務の諸問題に関する一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的とする。

2 開催日時 令和3年11月12日（金）14時00分から

3 開催場所 伊予市下三谷1761-1  
ウェルピア伊予 「鳳凰」

## 4 発表本部及び発表順

- (1) 上島町消防本部
- (2) 伊予消防等事務組合消防本部
- (3) 大洲地区広域消防事務組合消防本部
- (4) 愛南町消防本部
- (5) 松山市消防局
- (6) 四国中央市消防本部

5 発表内容 消防防災に関するもの全般

## 6 審査

### (1) 審査員

伊予市教育長	上岡 孝
株式会社愛媛新聞社 編集局報道部長	雲出 浩二
新居浜市消防本部 消防長	高橋 裕二
今治市消防本部 消防長	福田 吉三郎
宇和島地区広域事務組合消防本部 消防長	丸川 一郎
東温市消防本部 消防長	和田 悟
久万高原町消防本部 消防長	大野 秋義

※意見発表者が愛媛県消防長会役員本部の場合は、役員以外の消防長とする。

## (2) 審査項目及び配点

ア 採点は、以下の配点により行う。

区 分	審 査 項 目	配 点
発表内容	① 論旨の明確性及び説得力	4 0
	② 業務に対する問題意識及び発展性	4 0
発表力	③ 態度及び表現力	2 0
合 計		1 0 0

イ 発表時間は1人5分以内とし、超過した場合は、採点合計から30秒ごとに5点を減点（事務局において行う）する。また、4分30秒の時点でベルを1回、5分の時点でベルを2回鳴らし合図する。

## 7 表彰等

最優秀賞1人、優秀賞1人、入賞4人を表彰する。

## 8 その他

- (1) 服装については、制服とする。
- (2) 発表は弁論（口頭による発表）により行い、携行品の持ち込みは認めないものとする。また、会場の設備等の使用も認めないものとする。
- (3) 最優秀賞受賞者は、令和4年度全国消防長会四国支部消防職員意見発表会に出場するものとする。

# 令和3年度 愛媛県消防長会消防職員意見発表会

## 出場者名簿

発表順序	所属	階級	氏名	発表テーマ	発表要旨
1	上島町消防本部	消防士長	ほづみ まさはる 穂積 雅晴	消防団員充実強化のために	少子高齢化等により消防団員が減少傾向にある中、いかにして地域防災力向上に繋げていくかが大きな課題だと感じています。
2	伊予消防等事務組合消防本部	消防副士長	にしおか ひろふみ 西岡 裕文	『避難率100%を目指して』	豪雨災害から住民を守るために、なにをするべきか。共助・公助の強化は必要不可欠だが、自助に対する意識改革を促したい。
3	大洲地区広域消防事務組合消防本部	消防士	やまかわ ももか 山川 桃花	「伝える力の多様性」	耳の不自由な方と意思疎通できた経験から、コミュニケーションツールの1つとして『指文字』を提案します。
4	愛南町消防本部	消防副士長	かじわら けんた 梶原 健太	いま、必要な情報を届けたい	災害時の情報共有について、町独自のアプリを作成し、住民からの情報収集と自治体からの情報発信の有り方について提案します。
5	松山市消防局	消防士	そね けい 曾根 溪	「命をつなぐ箱」	私が経験したあの日の涙を二度と繰り返さないため、子供たちの命と真摯に向きあうことができる「命をつなぐ箱」を設置します。
6	四国中央市消防本部	消防副士長	おおにし かずなり 大西 一成	「身近な避難経路」	私たちの身のまわりにありながら、あまり意識することのない避難器具について、普及活動の必要性を問いかけていきます。